

第14回

in 尼崎

日本子ども虐待医学会学術集会

Japanese Medical Society on Child Abuse and Neglect

子ども虐待医学における「支援」を考える



会期：2023年7月1日(土)～7月2日(日)
プレコングレス 6月30日(金)

会場：尼崎市総合文化センター

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通2-7-16



大会長：毎原 敏郎（兵庫県立尼崎総合医療センター）

主催：一般社団法人 日本子ども虐待医学会

事務局：兵庫県立尼崎総合医療センター こども家族支援室

後援：法務省、警察庁、厚生労働省、日本看護協会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本小児科学会、日本子ども虐待防止学会、神戸地方検察庁、兵庫県警察本部、兵庫県、尼崎市、兵庫県医師会、兵庫県小児科医会、尼崎市医師会、尼崎市小児科医会、兵庫県看護協会（すべて予定）

運営事務局：株式会社プラスエス・アカデミー内 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町3-201

E-mail：14jamscan@plus-s-ac.com Tel：072-275-5723 FAX：072-275-5724

【開催趣旨】

日本子ども虐待防止学会から医学・医療分野が独立して日本子ども虐待医学研究会が設立されたのは2009年8月、2023年夏で14年となります。この間には日本子ども虐待医学会への移行や一般社団法人の設立、児童虐待防止法・児童福祉法の改正など、学会の内外でさまざまな変化がありました。学会としては医学・医療が特に重要な役割を果たす身体的虐待、特に虐待による乳幼児頭部外傷（AHT）に重点を置いてきたことは、学術集会での発表演題やBEAMS（医療機関向け児童虐待対応プログラム）の内容からも見てとることができます。これは医学会として担う役割から考えると、必要かつ当然の責務であったといえます。しかしその過程において、医療者の中には子ども虐待に関する意識や活動のレベルに大きな格差が生じてきているようにも感じられます。

英国虐待防止協会のKrugman会長が提唱した子ども虐待対応の6段階を小林美智子先生が紹介しておられます（下表）が、医学・医療の分野でもさまざまな段階の対応が混在しています。例えば「子ども虐待＝残虐・残酷」というイメージが強いためか、「子ども虐待の診療経験はない」と答える医師も少なくありません。また子ども虐待への関わりが「通告」「一時保護」で終わっている医療機関も多いことでしょう。現段階では、子ども虐待の発生予防の要である「子どもや養育者への支援」に取り組むには、医療者のマンパワーも利用できる資源やノウハウも限られているのが正直なところです。

以上の点から、本学会では虐待を受けた子どもだけではなく、加害者を含む養育者に対して医療者はどのような支援ができるか、をテーマとしました。「支援」をキーワードにすることによって、マルトリートメント（養育不調）に関心を持ち、子ども虐待の予防に関わる医療者が増えることを願っています。

基調講演1：虐待を受けた子どものこころの理解（仮題）

講師 星野 崇啓先生（さいたま子どものこころクリニック）

基調講演2：虐待をしてしまう親のこころの理解（仮題）

講師 亀岡 智美先生（兵庫県こころのケアセンター）

教育講演1：指導、介入、見守りを超えた地域での支援体制作り（仮題）

講師 藤林 武史先生（西日本こども研修センターあかしセンター）

教育講演2：発達障害の子どもと親が受けやすいトラウマ（仮題）

講師 岡田 俊先生（国立精神・神経医療研究センター）

【シンポジウム】

1. DVへの対応を子ども虐待に活かす（仮題）

DV家庭にいる子どもへの関わりは困難ですが、研究者、弁護士、カウンセラーなどの話をお伺いして、対応の方法を模索します。

2. 多機関からの支援（仮題）

警察、検察、行政などの取り組みを知り、支援という観点から医療も一緒に対応するための連携のあり方を考えます。

3. 急性期医療における支援（仮題）

虐待の初期対応から必要となる、子どもの代弁者としての支援、親の心理状態への配慮について、多職種の間を議論します。

4. 動物からの支援（仮題）

付添犬やセラピー犬（動物介在活動・介在療法）の存在によって、子どもの気持ちが和らぐ過程を解説していただきます。

（なお、上記の内容は今後変更・追加することがあります）

表 子ども虐待対応の6段階

- | |
|------------------------|
| 1 虐待の否認 |
| 2 虐待の存在に気づく |
| 3 虐待への対応開始 |
| 4 親への援助の開始 |
| 5 性的虐待が生涯にわたる傷となることの発見 |
| 6 虐待の発生予防 |